

4年	単 元 名	調べ方と整理の仕方
算数		

1. 単元の目標

身のまわりの事象について、二次元の表を用いたデータの分類・整理の仕方を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

子どもたちにとって身近な事象である「学校図書館とのかかわり」を問題場面とした。「学校図書館の本をかりているかどうか」「学校図書館によくいくかどうか」等のアンケート結果を、二次元の表を用いて整理・分析し理解を深めた。

3. 授業での活用場面（9／10）

学習活動	学校図書館の関わり
1 これまでの学習を振り返る ・アンケート結果について ・まとめた表について 2 めあての確認	・「学校図書館とのかかわり」アンケートについて、それぞれの項目の結果を確認する ・「学校図書館とのかかわりがどうかについて」1つの項目だけで決めないことを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 学校図書館とのかかわりについて、二次元の表から分かったことや気付いたことを友達と話し合おう </div>	
3 まとめた二次元の表から自分の考えた結論を友達に伝え考えをわかりあう （かかわっている） ・読書が好きで、おすすめの本があるから ・読書が好きで、自分から図書館によくいくから 4 全体で考えを共有する 5 ふりかえり	・友達との考えを聞いて、今後の学校図書館とのかかわりについて自分の考えをもつようにする

4. 考察（成果や課題等）

・データ活用領域では、資料を読み取りその資料から自分なりの考えがもてるようになることを大切にしている。子どもたちにとって身近な事象である「学校図書館とのかかわり」を問題場面とすることで、児童一人一人が自分の図書館とのかかわりを見直す機会にもなった。